

# DENON<sup>®</sup>

## DP-400

TURNTABLE

# 取扱説明書

フロントパネル

リアパネル



付属品	4
特長	5
各部の名前	6
フロントパネル	6
リアパネル	8

## 準備する

組み立てる	10
ターンテーブルを取り付ける	11
カウンターウェイトを取り付ける	12
カートリッジ付きヘッドシェルを取り付ける	12
ダストカバーを取り付ける	13
ダストカバーをレコードスタンドとして使う	13
調整する	15
針圧の調整をする	15
アンチスキューティングの調整をする	17

## 接続のしかた

PHONO 入力端子が付いていない機器を接続する	19
PHONO 入力端子付きの機器を接続する	20
AC アダプターを接続する	21

## 再生/録音のしかた

レコードを再生する	24
レコードを再生する	24
再生を終了する	26
オートストップ機能を使う	27



## 困ったときは

目次	28
故障かな?と思ったら	29
電源が入らない / 電源が切れる	30
ターンテーブルが回転しない	30
音がまったく出ない	31
音飛びを起こしたり、スクラッチノイズが生じたり、歪んだ音が出る	31
ハウリングが生じる	32
トーンアームが途中で進まない	32

## 付録

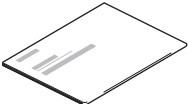
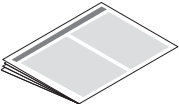
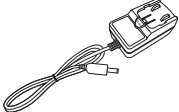
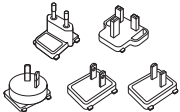
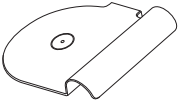
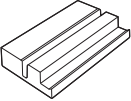
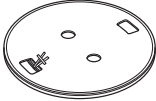
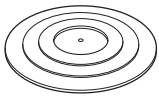



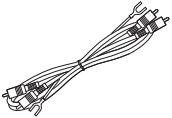
レコード針の交換について	33
カートリッジの交換について	34
主な仕様	36



お買い上げいただきありがとうございます。本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。  
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

## 付属品

ご使用になる前にご確認ください。

 <p>かんたんスタートガイド</p>	 <p>安全にお使いいただくために</p>	 <p>ACアダプター</p>	 <p>ACアダプター交換用プラグ (5種)</p>
 <p>ダストカバー</p>	 <p>ダストカバースタンド</p>	 <p>ターンテーブル</p>	 <p>ターンテーブルシート</p>
 <p>45回転レコード用アダプター</p>	 <p>カートリッジ付きヘッドシェル</p>	 <p>カウンターウェイト</p>	 <p>オーディオケーブル</p>



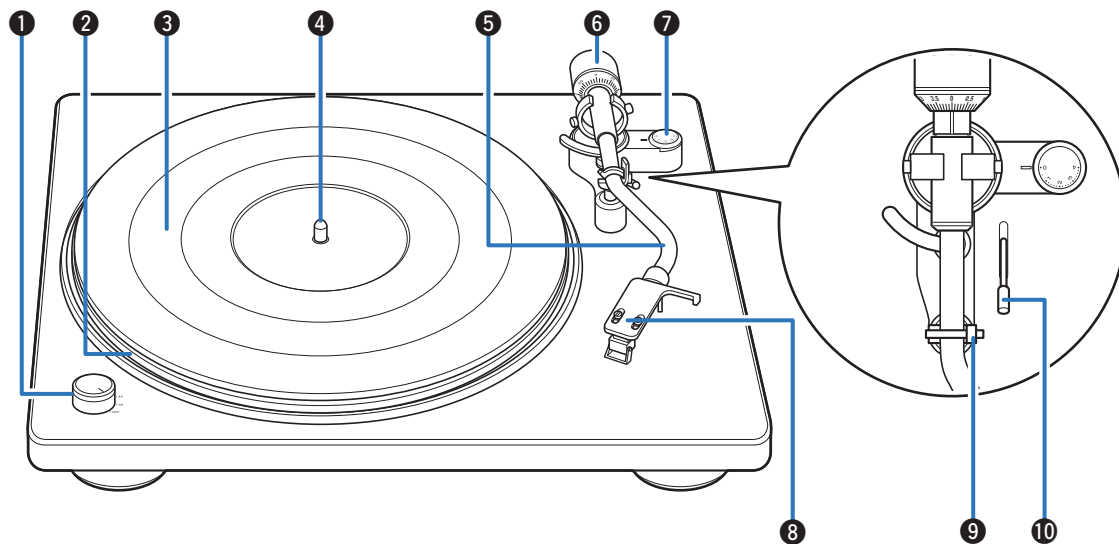
## 特長

- **現代的なデザイン**  
PMA-60 や DRA-100 など、既存のデノン・デザイン・シリーズと同様に不要な装飾を廃し、ミニマルで現代的なデザインにアップデートしました。
- **レコード再生終了時、自動的にトーンアームが上昇するオートアームリフター機能を搭載**
- **安定した回転数制御による、回転精度の向上**  
ターンテーブルの回転数を検知するセンサーを搭載し、ターンテーブルの回転が常に正確な速度を保つよう制御しています。
- **組み立て不要ですぐにお使いいただける、MM カートリッジ付きヘッドシェルを付属**
- **内蔵したフォノイコライザーのオンオフ切り替えができる、イコライザースイッチを装備**  
フォノイコライザーを内蔵しているので、PHONO 入力端子の無いアンプやミニコンポなどにもダイレクトに接続できます。イコライザースイッチをオフにすれば、PHONO 入力端子があるアンプにも接続できます。
- **33 1/3、45 および 78 回転に対応した、回転数切り替え機能を搭載**  
ターンテーブルの回転数を 33 1/3 回転、45 回転および 78 回転の中から選ぶことができます。LP 盤や EP 盤だけでなく、稀少な SP 盤の再生にも対応しています。
- **レコードスタンドとしてもお使いいただけるダストカバーを付属**  
付属のダストカバースタンドと組み合わせることで、レコードスタンドとしてお使いいただけます。お手持ちのレコードジャケットをディスプレイすることができます。

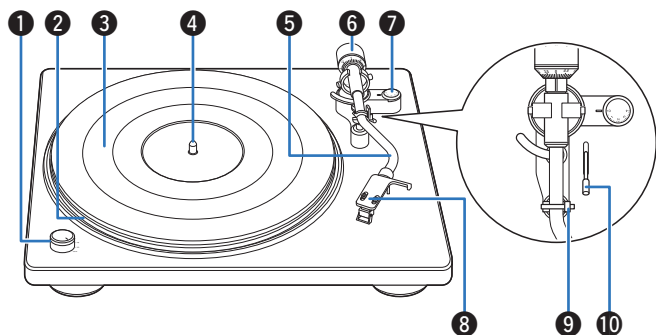


# 各部の名前

## フロントパネル



詳しくは、次のページをご覧ください。



### ① 電源/回転数切り替えノブ

電源をオン/オフしたり、再生するレコードに合わせて回転数を切り替えたりします。(P.24 ページ)

### ② ターンテーブル

本体のセンタースピンドルに差し込んで取り付けます。裏側にベルトを装着しています。(P.11 ページ)

### ③ ターンテーブルシート

ターンテーブルの上に取り付けます。(P.11 ページ)

### ④ センタースピンドル

ターンテーブルやレコードなどの中心穴を差し込みます。

### ⑤ トーンアーム

- 後部にカウンターウェイトを取り付けます。(P.12 ページ)
- 先端にカートリッジ付きヘッドシェルを取り付けます。(P.12 ページ)

### ⑥ カウンターウェイト

- トーンアームの後部に取り付け、針圧値を調節します。
- 「カウンターウェイトを取り付ける」(P.12 ページ)
  - 「針圧の調整をする」(P.15 ページ)

### ⑦ アンチスケーティングダイヤル

アンチスケーティングを調整します。(P.17 ページ)

### ⑧ カートリッジ付きヘッドシェル

トーンアームの先端に取り付けます。(P.12 ページ)

### ⑨ アームレスト

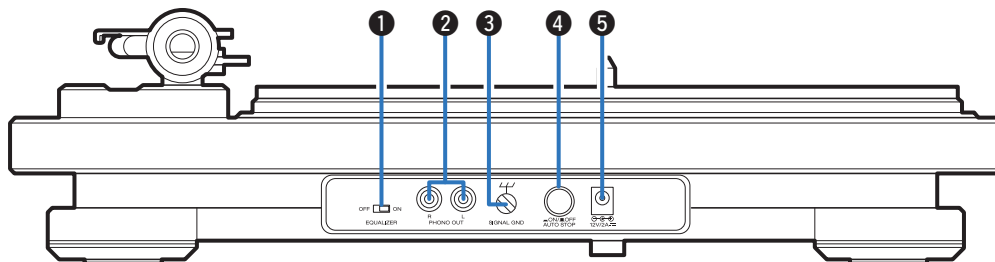
レコードを再生しないときに、トーンアームを乗せます。

### ⑩ リフターレバー

トーンアームを上げ下げします。レバーを下げたときトーンアームはゆっくりと下がりますので、レコードやレコード針を傷付けることなく、レコード針を降ろすことができます。



## リアパネル



### ① フォノイコライザーオン/オフ切り替えスイッチ (EQUALIZER ON/OFF)

本機に搭載したフォノイコライザー機能のオン/オフを切り替えます。接続するアンプやミニコンポなどに、PHONO 入力端子があるか無いかによって切り替えてください。

- 「PHONO 入力端子が付いていない機器を接続する」(☞ 19 ページ)
- 「PHONO 入力端子付きの機器を接続する」(☞ 20 ページ)

### ② アナログ音声出力端子 (PHONO OUT)

外部音声入力端子または PHONO 入力端子付きの機器を接続します。

- 「PHONO 入力端子が付いていない機器を接続する」(☞ 19 ページ)
- 「PHONO 入力端子付きの機器を接続する」(☞ 20 ページ)

### ③ アース端子 (SIGNAL GND)

本機と接続するアンプにもアース端子がある場合、付属の音声ケーブルのアース線を使って接続します。(☞ 20 ページ)

### ④ オートストップオン/オフ切り替えボタン (AUTO STOP ON/OFF)

レコード再生終了時、自動的にトーンアームが上昇してターンテーブルの回転が止まる、オートストップ機能のオン/オフを切り替えます。(☞ 27 ページ)

### ⑤ AC アダプター入力端子

付属の AC アダプターを接続します。(☞ 21 ページ)





## ■ 目次

### 組み立てる

ターンテーブルを取り付ける	11
カウンターウェイトを取り付ける	12
カートリッジ付きヘッドシェルを取り付ける	12
ダストカバーを取り付ける	13
ダストカバーをレコードスタンドとして使う	13

### 調整する

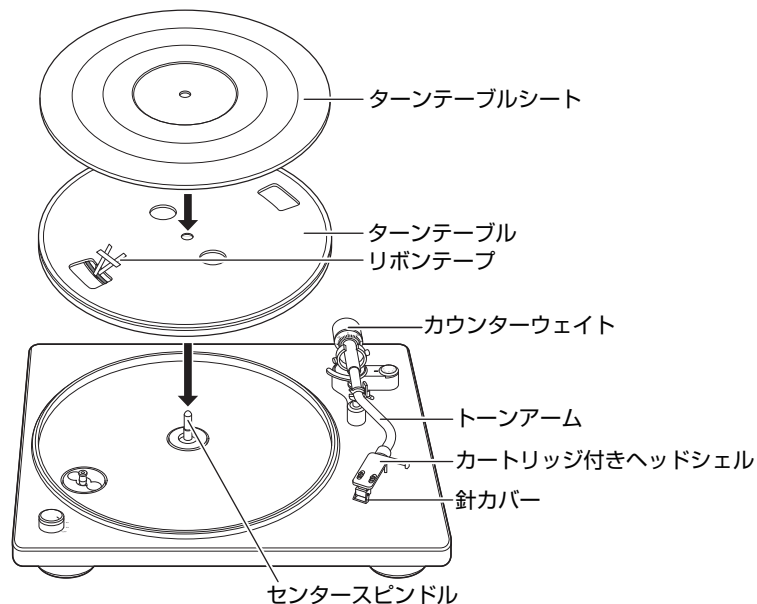
針圧の調整をする	15
アンチスキューティングの調整をする	17



## 組み立てる

お使いになる前に、付属の各部品を本機に取り付けてください。

レコードプレーヤーは振動や傾きに影響を受けやすいため、あらかじめ安定した水平な場所に本機を設置してください。



### ご注意

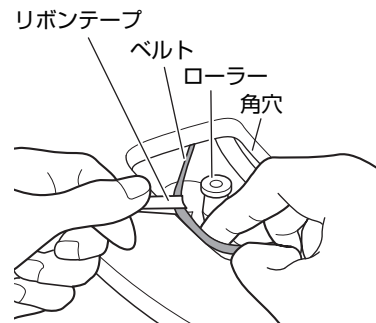
- 組み立ての際には、AC アダプターを本機とコンセントに接続しないでください。

## ターンテーブルを取り付ける

- 1 ターンテーブルの中心の穴をセンタースピンドルに差し込む。
- 2 ターンテーブルを回して、リボンテープがある方の角穴から本体のローラーが見える位置に合わせる。

- 3 リボンテープをつまんで引っ張り、ベルトをローラーに掛ける。

- ベルトを掛けたら、リボンテープは取り除いてください。



- ベルトを掛ける際に、ベルトをひねらないようご注意ください。
- リボンテープはベルト交換の際に必要になりますので、お使いになったあとは無くさないよう保管してください。

- 4 ターンテーブルシートをターンテーブルの上に取り付ける。

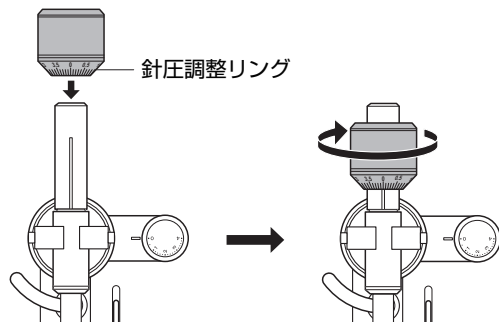


- DENON ロゴの刻印がある面を下にして取り付けてください。



## カウンターウェイトを取り付ける

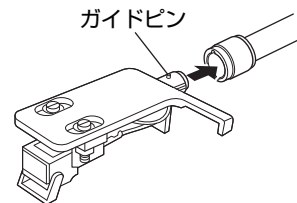
- 1 トーンアームの後部の軸にカウンターウェイトを差し込み、軽く押しながら矢印の方向に回して取り付ける。



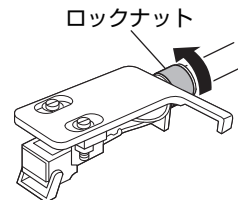
- カウンターウェイトの針圧調整リングを前面に向けて取り付けてください。

## カートリッジ付きヘッドシェルを取り付ける

- 1 ヘッドシェルをトーンアームの先端に差し込む。
- ヘッドシェルのガイドピンを上に向け、トーンアーム先端のくぼみに合わせて差し込んでください。



- 2 ロックナットを矢印の方向に回して、ヘッドシェルを固定する。



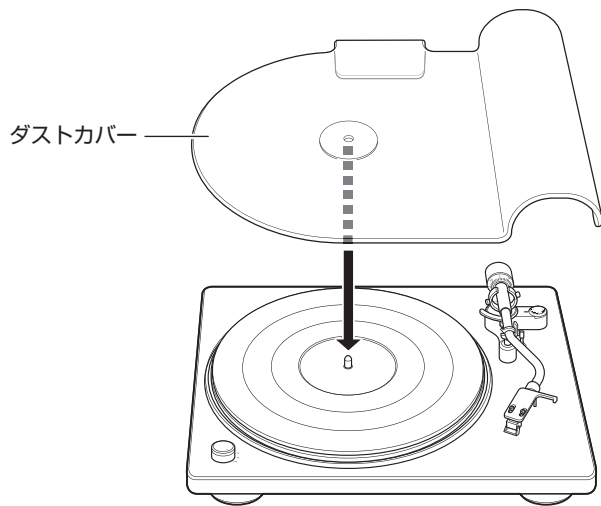
### ご注意

- 針先保護のため、カートリッジの針カバーは下げたままおこなってください。



## ダストカバーを取り付ける

- 1 ダストカバーをセンタースピンドルに差し込む。

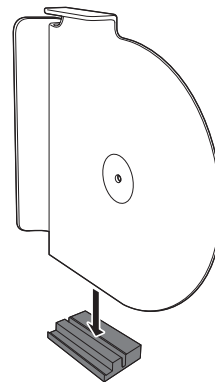


- レコードを再生するときは、ダストカバーを取り外してください。

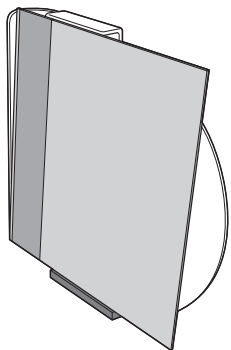
## ダストカバーをレコードスタンドとして使う

ダストカバーを付属のダストカバースタンドと組み合わせて、レコードスタンドとしてお使いいただけます。ダストカバーを本機に取り付けていないときにお使いください。

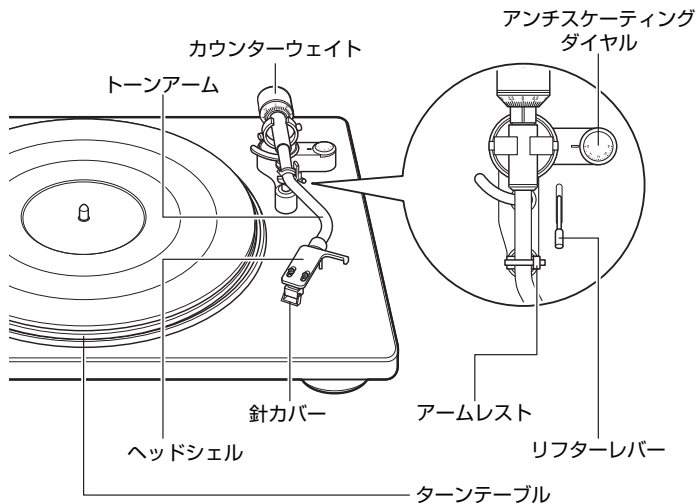
- 1 ダストカバースタンドの溝にダストカバーを下図の向きで差し込む。



- 2 ダストカバースタンドの切り欠き部分にレコードを置き、ダストカバーに立て掛ける。



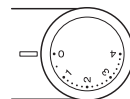
## 調整する



### 針圧の調整をする

レコード針がレコードの溝をなぞって音(振動)を拾うためには、一定の圧力(針圧)を針先からレコードにかける必要があります。針圧はカートリッジごとに適正な数値が決まっています。決められた針圧より高すぎたり低すぎたりすると、レコード再生の際に音が歪んだり針飛びしたりしてしまうだけでなく、レコード針の摩耗を早めてしまったり、レコードを傷つけてしまうおそれもありますので、必ず適正な数値に調整してください。

- 1 アンチスケーティングダイヤルの目盛りを“0”に設定する。



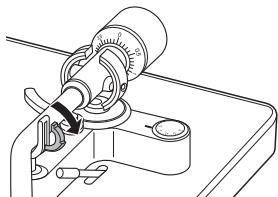
- 2 リフターレバーを下げる。

#### ご注意

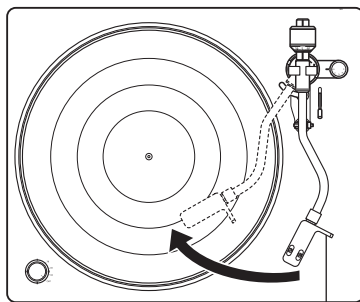
- 調整の際には、ACアダプターを本機とコンセントに接続しないでください。



### 3 アームレストのロックを外す。



### 4 ヘッドシェルの指掛けを持ち、トーンアームをターンテーブルの上まで移動させる。



指掛け

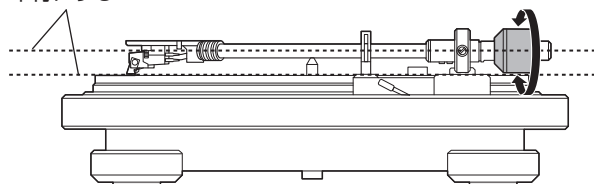
#### ご注意

- 針先保護のため、カートリッジの針力バーは下げたままおこなってください。

### 5 トーンアームとターンテーブルが平行になるよう、カウンターウェイトを回して調整する。

- カウンターウェイトを少しずつ回し、手を離して確認しながら調整してください。

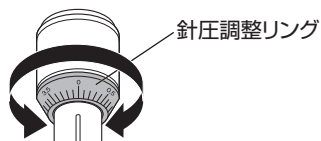
平行にする



### 6 トーンアームをアームレストに戻す。



- 7 カウンターウェイトが動かないように指でおさえながら、針圧調整リングの“0”の目盛りをトーンアーム上の線に合わせる。



- 8 カウンターウェイトを矢印の方向に回し、針圧調整リングの“2”の目盛りをトーンアーム上の線に合わせる。

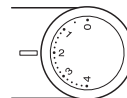


- 本機に付属するカートリッジの適正針圧値は、2.0g です。

## アンチスケーティングの調整をする

アンチスケーティングの調整は、レコードの回転によって針先が内側に引っ張られる力を打ち消すためにおこないます。

- 1 アンチスケーティングダイヤルを回し、“2”に合わせる。



- アンチスケーティングの値は針圧値と同じにしてください。

## ■ 目次

PHONO 入力端子が付いていない機器を接続する	19
PHONO 入力端子付きの機器を接続する	20
AC アダプターを接続する	21

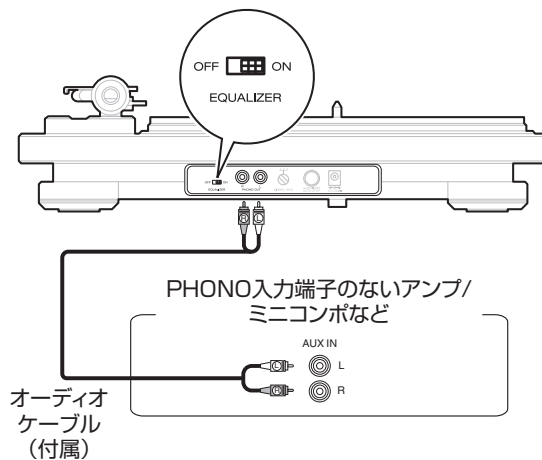
### ご注意

- すべての接続が終わるまで AC アダプターをコンセントに差し込まないでください。
- 接続ケーブルは、AC アダプターのコードと一緒に束ねないでください。雑音の原因になります。



## PHONO入力端子が付いていない機器を接続する

本機はフォノイコライザーを内蔵していますので、フォノイコライザーを内蔵していないアンプやミニコンポなどの外部音声入力端子と接続して、レコード再生をお楽しみいただけます。フォノイコライザーを内蔵していない機器と接続する場合は、本機の EQUALIZER ON/OFF スイッチを“ON”に設定してください。

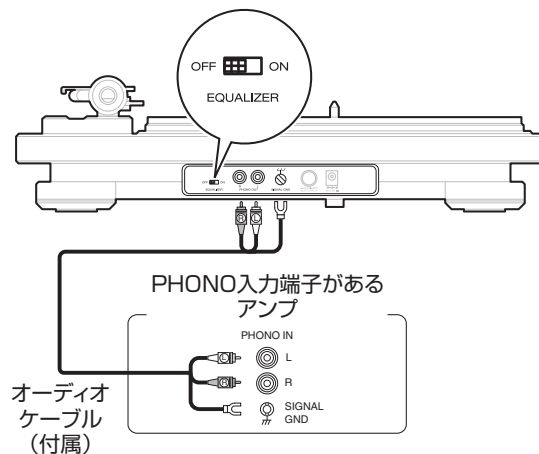


- 付属のオーディオケーブルに付いているアース線は邪魔にならないよう、オーディオケーブルを留めているビニールタイなどでケーブルに固定しておくことをおすすめします。
- EQUALIZER ON/OFF スイッチを正しく設定しないと音が極端に小さかったり、歪んだりします。



## PHONO入力端子付きの機器を接続する

本機をフォノイコライザーを内蔵した機器と接続する場合、接続した機器側のフォノイコライザーを使ってレコード再生をお楽しみいただけます。本機の EQUALIZER ON/OFF スイッチを“OFF”に設定し、フォノイコライザーを内蔵した機器の PHONO 入力端子と接続してください。



- 本機と接続する機器がアース端子を搭載している場合、オーディオケーブル(付属)のアース線を使って本機のアース端子(SIGNAL GND)と接続してください。再生時のノイズが少なくなることがあります。
- EQUALIZER ON/OFF スイッチを正しく設定しないと音が極端に小さかったり、歪んだりします。

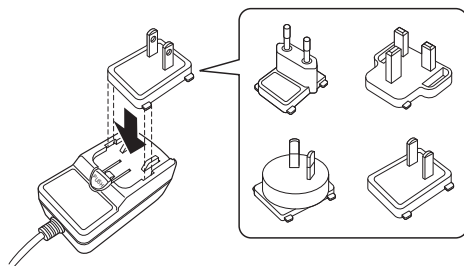


## ACアダプターを接続する

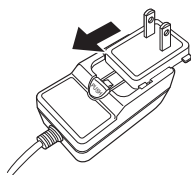
すべての接続が完了したら、ACアダプターをコンセントに差し込みます。  
あらかじめ、お使いのコンセントに適した交換プラグを図のように取り付けてください。

### 【ACアダプター交換用プラグの取り付けかた】

1. 下図のように、ACアダプター交換用プラグの下側の突起をACアダプターの溝に差し込む。

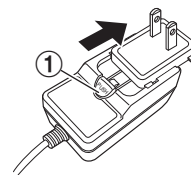


2. カチッと音がするまで矢印の方向へ押し込む。

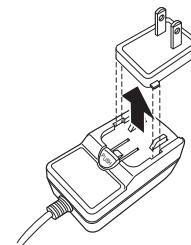


### 【ACアダプター交換用プラグの取りはずしかた】

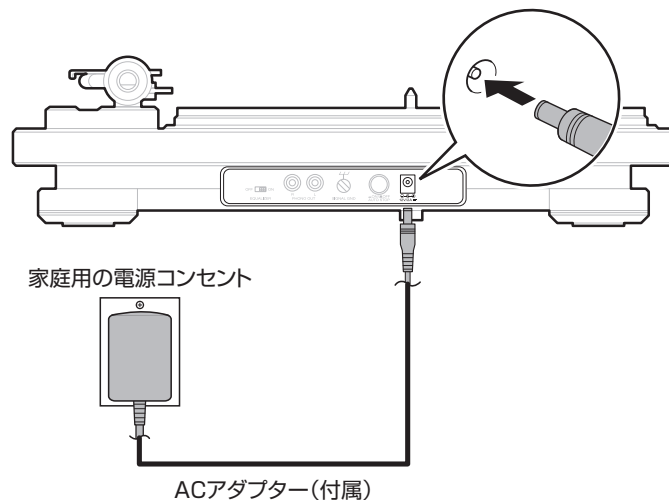
1. ① ボタンを押しながら、ACアダプター交換用プラグが止まるまで矢印の方向へスライドする。



2. ACアダプター交換用プラグが止まったら、矢印の方向へプラグを引き上げる。



## ■ ACアダプターの接続のしかた

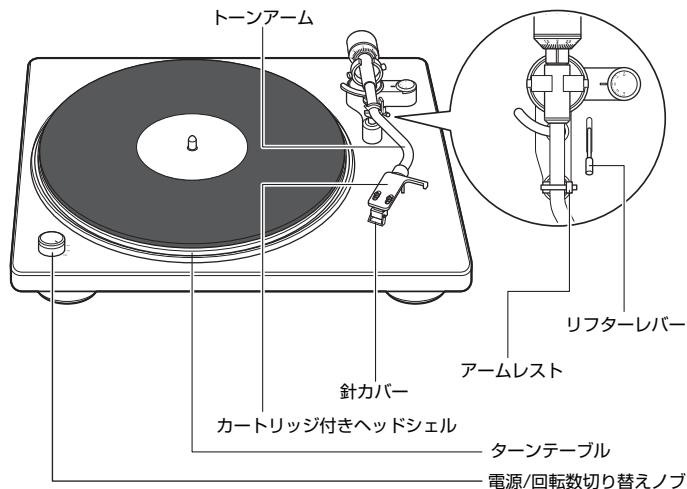


## ■ 目次

レコードを再生する	24
-----------	----



# レコードを再生する



## レコードを再生する

### 1 レコードをターンテーブルシートの上に載せる。



- EPレコード(ドーナツ盤)を再生するときは、あらかじめ45回転レコード用アダプター(付属)をセンタースピンドルに差し込んでください。

### 2 電源/回転数切り替えノブを回して、ターンテーブルの回転数をレコードの回転数に合わせる。 ターンテーブルが回りはじめます。

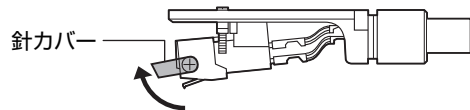


- ターンテーブルの回転数は分速 33 1/3、45、78 回転のいずれかを選べます。
- レコードの回転数は通常、レコードのジャケットやレーベルに記載されています。

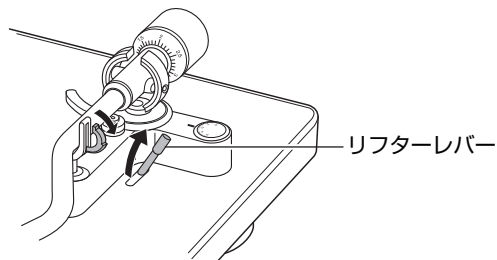




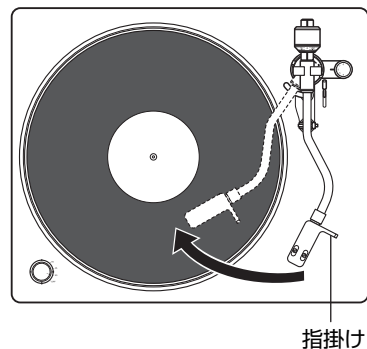
### 3 カートリッジの針カバーを上げる。



### 4 アームレストのロックを外してリフターレバーを上げる。

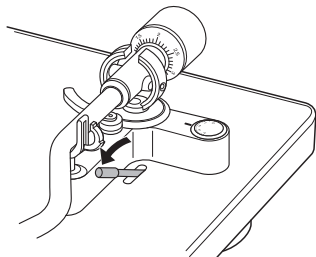


### 5 ヘッドシェルの指掛けを持ち、針先を再生したい曲の開始位置の直上に移動する。



## 6 リフターレバーを下げる。

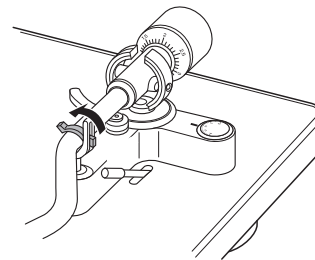
トーンアームがゆっくりと降下し、針先がレコードに降りて再生をはじめます。



- レコードに傷をつけないようご注意ください。
- 再生中は、次の点にごご注意ください。
  - トーンアームやターンテーブルに触れない。
  - 電源を切らない。
  - 本機に振動や衝撃を与えない。
- レコードを交換するときは、ターンテーブルが止まってからおこなってください。
- ターンテーブルの回転中にターンテーブルを手でおさえて回転を止めないでください。内部が発熱し、故障や火災の原因となることがあります。

## 再生を終了する

- 1 リフターレバーを上げる。  
トーンアームが上昇し、針先がレコードから離れます。
- 2 ヘッドシェルの指掛けを持ち、トーンアームをアームレストに戻す。
- 3 リフターレバーを下げる。
- 4 トーンアームをアームレストに固定する。



## 5 電源/回転数切り替えノブを回して、OFF に合わせる。 ターンテーブルの回転が止まります。

### ご注意

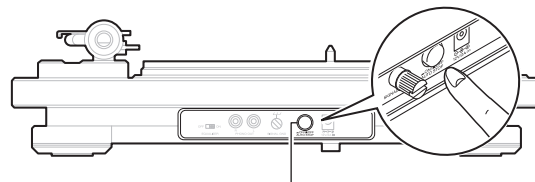
- カートリッジの針先保護のため、本機をお使いにならないときはカートリッジの針カバーを下げてください。

## オートストップ機能を使う

オートストップ機能をオンにすると、再生終了したときにトーンアームが自動的に上昇し、ターンテーブルの回転が止まります。レコード再生中に眠ってしまった場合などに、ターンテーブルが回転し続けてレコード針が磨耗することなどなく、便利です。

- お買い上げ時の設定は、オンです。

### 1 リアパネルの AUTO STOP ON/OFF を押して、オートストップ機能をオンにする。



AUTO STOP ON/OFF

- オートストップ機能をオンにする際には、AUTO STOP ON/OFF が確実に押し込まれていることを確認してください。



- ターンテーブルの回転が止まってから約 20 分後に本機の電源がオフになります。レコードの再生を再開する際は、電源/回転数切り替えノブを操作してください。



# 目次

---

## ■ 故障かな?と思ったら

電源が入らない / 電源が切れる	30
ターンテーブルが回転しない	30
音がまったく出ない	31
音飛びを起こしたり、スクラッチノイズが生じたり、歪んだ音が出る	31
ハウリングが生じる	32
トーンアームが途中で進まない	32



## 故障かな?と思ったら

---

最初に次のことを確認してください。

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. 接続した機器は正しく動作していますか

本機が正しく動作しないときは、該当する症状に従ってチェックしてみてください。

なお、どの症状にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でもお分かりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。



## 電源が入らない / 電源が切れる

### 電源が入らない。

- 電源コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。(P.22 ページ)
- 電源がオフになっています。再生するレコードの回転数にあわせて、電源/回転数切り替えノブを回してください。(P.24 ページ)

### 電源が自動的に切れる。

- オートストップ機能がオンになっています。リアパネルの AUTO STOP ON/OFF ボタンを押して、オートストップ機能をオフにしてください。(P.27 ページ)

## ターンテーブルが回転しない

### ターンテーブルが回転しない。

- 電源コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。(P.22 ページ)
- ベルトがターンテーブルとローラーの両方に正しく掛かっているか確認してください。ベルトがはずれているときは、次の手順で取り付けてください。
  1. ターンテーブルを本機から外し、裏返す。
  2. ターンテーブル裏側の内円部の外周にベルトを掛ける。
  3. ターンテーブルを表にして角穴からターンテーブルとベルトの間にリボンテープを通す。
  4. 「ターンテーブルを取り付ける」(P.11 ページ)を参照して、ターンテーブルを取り付ける。



## 音がまったく出ない

音が出ない。または歪む。

- すべての機器の接続を確認してください。(🔍 18 ページ)
- 接続ケーブルを奥まで挿してください。
- 入力端子と出力端子を間違えて接続していないか確認してください。
- ケーブルが破損していないか確認してください。
- アンプの設定を確認し、適切に調節してください。
- 交換針が正しく取り付けられているか確認してください。(🔍 33 ページ)
- 本機にフォノイコライザーを内蔵していないアンプやミニコンポなどを接続してお使いの場合は、本機の EQUALIZER ON/OFF スイッチを“ON”に設定してください。(🔍 19 ページ)

## 音飛びを起こしたり、スクラッチノイズが生じたり、歪んだ音が出る

音飛びを起こしたり、スクラッチノイズが生じたり、歪んだ音が出る。

- 針圧が適性針圧になっていません。正しく調節してください。(🔍 15 ページ)
- レコードに傷が付いていないか確認してください。
- レコードが反っていないか確認してください。
- 針またはレコードが汚れていないか確認してください。
- レコード針が磨耗していないか確認してください。磨耗していたらレコード針を交換してください。(🔍 33 ページ)



## ハウリングが生じる

ハウリングが生じる。

- 本機とスピーカーの位置が近すぎます。スピーカーを本機から離れた場所に設置してください。
- 本機が不安定な場所に設置されています。本機を安定した水平な場所に設置してください。
- 再生する音量が大きすぎます。本機に接続しているアンプの音量を調節してください。

## トーンアームが途中で進まない

トーンアームが再生中に進まなくなる。

- レコードに傷が付いていないか確認してください。
- トーンアームに何か当たっていないか確認してください。





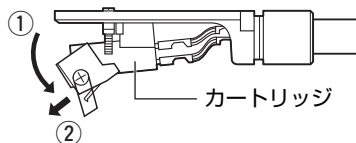
## レコード針の交換について

付属の針の寿命は約 400 時間です。大切なレコードをいためないよう、早めに交換してください。

交換針は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にて、本機専用交換針「DSN-85」をご指定のうえ、お買い求めください。

### ■ 交換針の取り外しかた

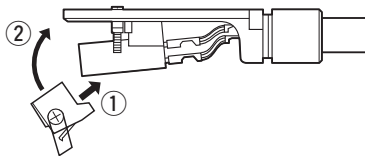
一方の手でカートリッジを支え、他方の手で交換針を持ち、矢印①の方向に押し下げてから矢印②の方向にやさしく引き抜いてください。



- 針を交換する前に、本機とアンプの電源を切ってください。
- 針先は非常に繊細にできていますので、取り扱いには十分ご注意ください。針先のゴミは柔らかいブラシなどで軽く取り除いてください。
- ヘッドシェルをトーンアームから外すと針の交換がしやすくなります。

### ■ 交換針の取り付けかた

一方の手でカートリッジを支え、他方の手で交換針を持ち、交換針の引っ掛け部分を矢印①の方向に向けてカートリッジ本体の長穴の奥に入れた後、矢印②の方向にパチンというまで押し上げてください。

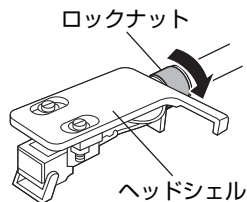


## カートリッジの交換について

本機のカートリッジを交換する場合は、質量が約5g~13g(約59mN~128mN)のカートリッジをお使いください。

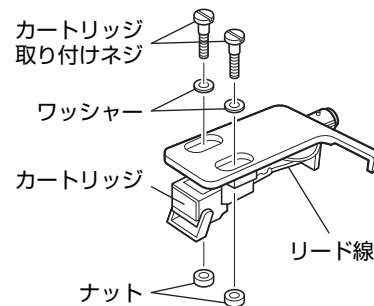
### ■ カートリッジの取り外しかた

- 1 ロックナットを矢印の方向に回して、ヘッドシェルを取り外す。



- 2 カートリッジ取り付けネジを取り外す。

- 3 カートリッジ側に接続しているリード線を取り外す。



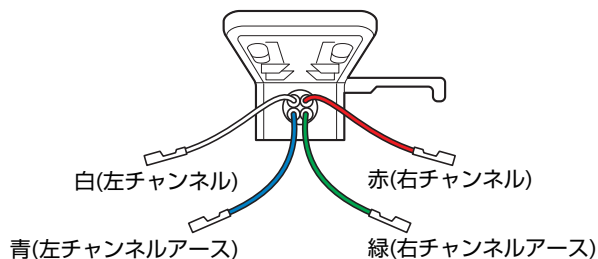
#### ご注意

- 針先保護のため、カートリッジの針カバーを下げたからおこなってください。

## ■ カートリッジの取り付けかた

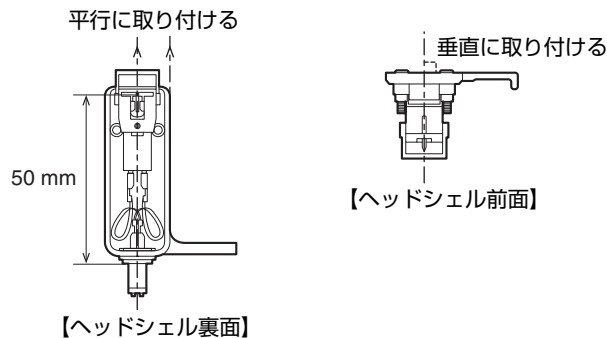
### 1 リード線をカートリッジに接続する。

- リード線は次のように色分けされています。お使いのカートリッジの表示や取扱説明書を参照し、正しく接続してください。



### 2 カートリッジをヘッドシェルに取り付ける。

- 次の図のように、ヘッドシェルとトーンアームの接合部から針先までの距離が 50mm になるようにカートリッジを取り付けると、所定のオーバーハングが得られます。(本機のオーバーハングは 16mm です)



- カートリッジを交換した場合は、針圧およびアンチスキューティングの調整をおこなってください。(P.15 ページ)
- 本機内蔵のフォノイコライザーは MM カートリッジ専用です。



## 主な仕様

---

### ■ ターンテーブル部

駆動方式:	ベルトドライブ
モーター:	DC サーボモーター
回転速度:	33-1/3、45、78 回転
ワウ・フラッタ:	0.1% WRMS
S/N 比:	62dB

### ■ トーンアーム部

トーンアーム:	スタティックバランス
アーム有効長:	220mm
オーバーハング:	16mm
針圧可変範囲:	0~4.0g 1 目盛り 0.1g
適合カートリッジ自重:	5.0~13.0g



## ■ カートリッジ部

カートリッジ:	MM 型
出力電圧:	イコライザーオフ時: 2.5mV イコライザーオン時: 150mV
最適針圧:	2.0g
交換針品番:	DSN-85

## ■ 総合

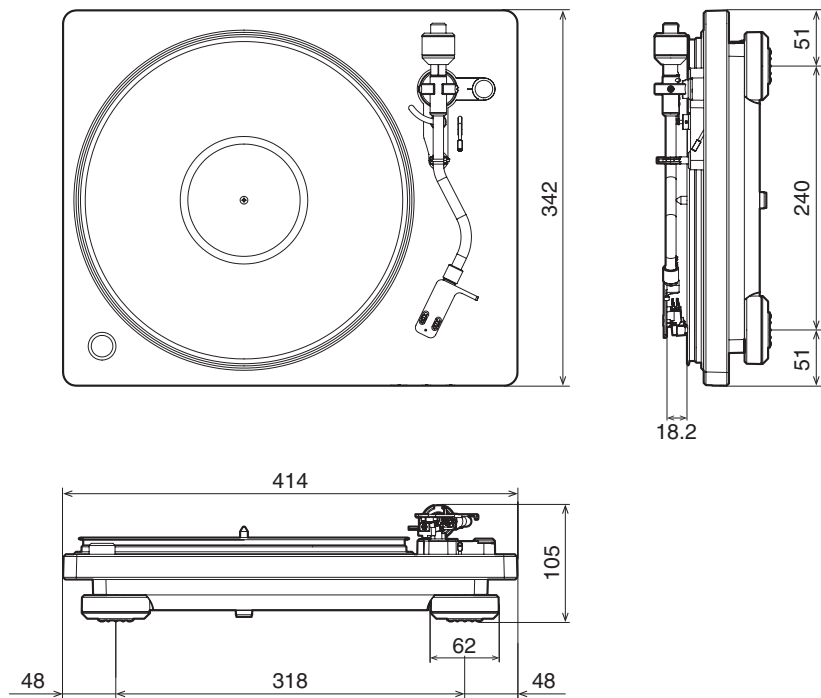
電源:	AC100~230V、50/60Hz
消費電力:	10W
スタンバイ時の消費電力:	0.5W 以下 *

\* オートストップ機能が有効になっているとき

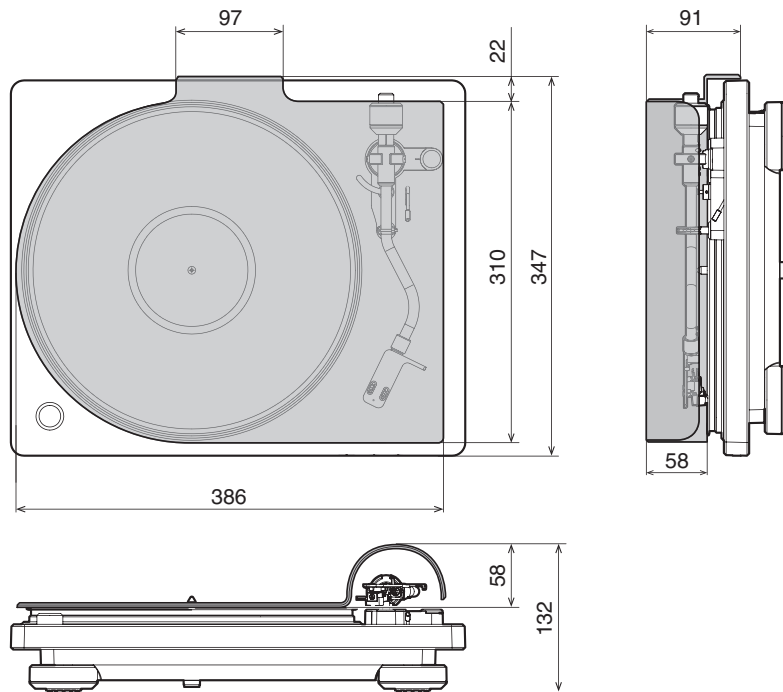
仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。



## ■ 寸法(単位:mm)



【ダストカバー取り付け時】



■ 質量 : 5.6kg(ダストカバーを含む)

**DENON®**

[www.denon.com](http://www.denon.com)

3520 10640 00ADB

Copyright ©2018 D&M Holdings Inc. All Rights Reserved.